

寺報

龍正寺

日なた 116号

謹賀新年

平成三十年戊戌

九紫火星の年は

心の持ち方で

躍進する年

日延



<平成30年 1月>

宝龍会
護持会

往職一言(戌戌年九星紫星)

あけましておめでとうございます。

本年も寺報日なた・ホームページを諸読よろしくお願ひ
申し上げます。

平成30年^{つちのえいぬ}戌戌九紫火星の年を迎えました、皆様方どの
様な気持ちにてお迎えになった事でしょうか。

干干に^{つちのえ}戌は土の兄と書いて「つちのえ」と読みます、五行の
内の土の性格を持ちその兄ですから強い土です、また
干支の^{いぬ}戌は五行に当てると土の性格を持った年にな
ります、非常に硬いイメージです。

土は年を入れれば「柔らかく良い土」に変わり、植物・野菜
等を育てる豊かな土となります。

年を加えることなくそのままでは何にもつ育ること
なく硬い硬い土となってしまう。

また九紫火星ですから、良い火は向上心を持ち努力
を重ねる事で、躍進して明るく豊かな心持になれ
ます、悪い火は、思う通りにならないと、腹をたて大声
で怒鳴ったり、罵ったり、愚痴を言ったりして暗い心

持になって向上する事なく毎日を送る寂しい心になり
ます。

努力と心の持ち方を考える事で良くなり安穏な日々が
送れると思います。


平成30年^{75回いぬ}戌戌九紫火星は我々の日々の努力が実を
結ぶ年であります。

合掌(感謝)のこころを持って良い一年間にし
てくださいます事を祈り申し上げ新年のご挨拶
とさせていただきます。

南無妙法蓮華経

合 掌

— 気持ち新たに —

明けましておめでとうございませう 

本年もよろしくお願ひします。

新しい年を迎え、皆さんも気持ち新たにスタートしたことと思います。私も昨年末に今年目標を立てました。と言うのも、あるテレビ番組で毎年行われている「100kmウォーキング」の様子が映されたのを見て時のことでした。30時間以内に夜通し歩き続けるという過酷なレースで、参加者は願ひのためだったり、自分の限界への挑戦であったり、色々な思いで歩いていました。昨年は忙しさを理由に「たまたま」あ、という間に1日が過ぎていくという毎日を過ごしていたように思います。もう少し、自分と向き合って、有意義な時間を過ごしたいと思いました。100kmウォーキングに参加したい！！と言いたいところですが、それ以外でも何か「チャレンジ」することを見つけて頑張りたいというのが、私の今年目標です！！

皆さんは何か目標など立てられましたか？ 加齢により、記憶力は低下するし、まだまだ子育ても

大変ですが、いくつになっても気持ちさえ強く持って
いけば、時間はかかるかもしれませんが、いつか必ず
達成できると信じています。

勉強だけでなく、趣味であったり、何か自分の好きな
事、見つけられると、毎日がとても充実したものになりま
すよね！

日蓮大聖人も法華経を広めるために誓願し、どん
な難に遭っても強く前向きに生きられました。

そして私達は法華経とご縁を頂き、生かされて
います。

今年も日々感謝の気持ちを忘れずに前向きに
精進していきたいと思えます。

南無妙法蓮華経

心(真)に入る

11月19日に龍正寺の団参に参加しました。
帰りのバスの中で見たビデオの内容がとても心に
残りました。題名は『WOOD JOB』(ウッジョブ)
= 神去なあなあ日常 = という作品です。

物語は、都会に住んでいた18歳の主人公が
気まぐれから林業の研修生になり、すぐに逃げ
出すつもりだったが、個性豊かな村の人達と暮
らす中で、いっはしの山の男に成長していくと
いうもの。笑いを交えられている映画だけれど、
いろんな事に気づかされる映画でもありました。
1つ1つの場面で考えさせられ、ハッとする事がたくさん
ありました。

倒した木は、自分達の祖先が植えたもので
あり、今植えた木を切り倒すのは自分達の
子孫であるという、100年先を見据えた気の
長い“未来を作る”仕事の魅力に、主人公は

次第に気付いていくというもの。その中でも主人公は山で不思議な体験、自然の絶大なる存在にかけがいのないさを感じる等々。

場面は、主人公の友人が遊びに来てくれたのですが、村や今の環境を異く言ったところ、主人公は友人達に帰れと強く言い放ちます。

この場面を見た時には、山の仕事、この村の人達の存在がかけがえのないものになってきた瞬間であると感じました。真に入ったからこそブレずに言ったのではないかと思いました。

仕事の休憩中、お地蔵様を見つけ、昼食のおにぎりをおすそ分けし、お供えする場面がありました。山の仕事をしているなかで自然に対する敬意がこのように自然な行動になったのではないかと思う場面でした。

村では子供共が山で行方不明になる事件が起りました。主人公は探しに行く中で、仏様のご加護と思われる不思議な体験をして子供を見つけます。

主人公は、都会ではなく、村での人々・自然の中での出来事を通してブレない気持ち・真に入ることが出来ています。

私は お寺であり、法華経であります。
法華経に出会えた事で、真に入れることが出来るように日々精進です。

～ 新年に思う ～

初春のお慶びを申し上げます。

「^{つよえ}成^{いぬ} 平地木」平成30年からスタートしました。

今年は孤^こ影^{えい}悄^{せう}然^{ぜん}の木（一人だけ寂しそうな姿・元気のないさま）

志^し操^{そう}堅^{けん}固^こ（周囲の状況で思惑に左右さゆることなく、自分

の志を守り続けて変えないこと）に固執すれば上昇運を逃す

恐れなりとなりました。

今年は必要以上に我を張り、頑くなになっていると孤立して

しまい、寂しい年になってしまいます。

年頭にこの事を心に納めて、一年を送りたいと思います。

さて、年末より多様なニュースを見るたびに、「人の心かどんどん

食まれている」と心が重苦しくなりました。

それは自分の我（思い）が強く、相手の気持ちらになつて考えてみる事が

出来なくなっているのかなと思います。

誰もが幸せになりたいと願っているのではないだろうか？

幸せになるには、自分の我（思い）を通す事ではなく、心穏やかに

柔軟になる事だと思います。心が優しくなる事で、自分の頑に

なった心は、前向きな考えや思いが溢れてきます。

そして自ら幸せをみつけ、感じる事が出来ると思います。

でも…時には迷い不安の中で押しつぶされそうになる時もあるかもしれません。

しかし、私達には「南無妙法蓮華経」の七文字があります。

どのような難が起るようとも、七文字を唱えれば、大難は小難、小難は無難と変化していきます。

そして喜び・感謝で日々幸せな生活を営む事が出来ます。

この「平成 30年」皆様はどのような一年を過ごされますか？

「平成」も来年には年号が変わります。

平成の時代に目標を持って、明るく楽しく前向きに人生を歩んでいきたいと思っています。

今年もどうか寺報「日なた」をよろしくお願ひします。

参加者をお待ちしております。

<1月の行事予定>

- 1月1日(月) 5:00~ 元旦祝禱会
13日(土) 10:00~ 初宗祖日蓮大聖人報恩会
18日(木) 10:00~ { 初息子母尊神 祈禱会
七面大明神
初大古久尊天祈願会
28日(日) 13:00~ 節分 星祭り祈禱会大法要

<住職の予定>

- 1月 9日(火)・11日(木) 26日(金) 土岐へお経回り
1月 25日(木) 慰労会 グランドホテル(岐阜) 午後6:00より

<1月の予定>

- 1月3日(水) 13:00~ 片付け
6日(土) 13:00~ おもち下げ"
7日(日) 各々の時間で 準備活動
↓ ↓
12日(金) ↓ ↓
13日(土) 法要後 片付け、準備
14日(日) 各々の時間で 清掃、準備
↓ ↓
17日(水) ↓ ↓
18日(木) 法要後 片付け、準備
19日(金) 各々の時間で 清掃、準備
↓ ↓
27日(土) 9:00~ 飾り付け